



平成 27 年 2 月 4 日

独立行政法人国立科学博物館

一般講演会「皇居の生きものたち－国立科学博物館 による皇居の生物相調査－」の開催について

独立行政法人国立科学博物館(館長:林 良博)の主催により、標記の講演会(平成 27 年 2 月 11 日(水、建国記念の日))を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

国立科学博物館は、平成 8～12 年度に皇居の動物と植物に関する調査〔皇居の生物相調査(第Ⅰ期)〕を実施しました。この調査の発端には、常々自然に深いご関心とご配慮をお持ちでいらっしゃる今上陛下が、都心にありながら多数の動物と植物が生息・生育する皇居内の動植物相について、科学的に調査研究を行う必要があり、西暦 2000 年における皇居内の生物についての正確な記録を残し、さらにその記録をもとに、経時的な変化を把握するのが望ましいとのお考えでいらした経緯があります。

第Ⅰ期調査では、1,366 種の植物と 3,638 種の動物が見いだされ、国立科学博物館専報 34-36 号(2000)に結果を公表しました。

今回の第Ⅱ期調査は、第Ⅰ期調査から約 10 年が経過した平成 21～25 年度における皇居の動植物相を経時的に調査し、併せてタヌキなど、特定の動物(群)の生物学的・生態学的特性を解析することを目的に実施されました。これらの結果は既に 2 分冊の報告書にまとめ、2014 年 3 月に国立科学博物館専報第 49 号(皇居の生物相Ⅰ. 植物相)および第 50 号(皇居の生物相Ⅱ. 動物相)で発表を行いました。

このたび、これまでの調査の結果を一般の方に広く公開するために、国立科学博物館上野本館において、講演会「皇居の生きものたち」を開催することになりました。

つきましては、取材・記事の掲載など、本講演会の広報に関して、特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

筑波研究施設 研究活動広報担当：吉田 聡宏

担当研究員：倉持 利明(動物研究部長)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8903 FAX:029-853-8998

E-mail:outreach@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <http://www.kahaku.go.jp/>

一般講演会「皇居の生きものたち-国立科学博物館による皇居の生物相調査-」
プログラム

日時：2015年2月11日（水、建国記念の日）9:30-17:00

会場：国立科学博物館 日本館講堂

演題

- 9:30-9:45 はじめに：皇居の生物相調査の概要
倉持 利明（国立科学博物館動物研究部）
- 9:45-10:15 皇居はタヌキにとって理想的な住処？テレメトリー調査の結果から
川田 伸一郎（国立科学博物館動物研究部）
- 10:15-10:45 皇居のトンボ類の多様性と特徴
清 拓哉（国立科学博物館動物研究部）
- 10:45-11:15 皇居に生息するクモ類
小野 展嗣（国立科学博物館動物研究部）
- 11:15-11:45 皇居における半翅目、双翅目、鞘翅目の調査結果
野村 周平（国立科学博物館動物研究部）
- － 休憩 －
- 13:00-13:30 皇居のハチ類調査で分かったこと
篠原 明彦（国立科学博物館動物研究部）
- 13:30-14:00 都市鳥が集う皇居でオオタカやエナガも繁殖！
西海 功（国立科学博物館動物研究部）
- 14:00-14:30 とっても多様な皇居のきのこ：見える多様性と見えない多様性
保坂 健太郎（国立科学博物館植物研究部）
- 14:30-15:00 皇居の地衣類多様性と大気汚染
大村 嘉人（国立科学博物館植物研究部）
- － 休憩 －
- 15:15-15:45 皇居における水環境の変化と藻類
辻 彰洋（国立科学博物館植物研究部）
- 15:45-16:15 皇居の景観をつくるコケたち
樋口 正信（国立科学博物館植物研究部）
- 16:15-16:45 皇居の維管束植物相—新種フキアゲニンソウを中心として—
門田 裕一（国立科学博物館植物研究部）
- 16:45- まとめ
岩科 司（国立科学博物館植物研究部）



本調査で生育・生息が確認された生物の例。左上から時計回りに、フキアゲニンソウ、オオタカ、ニホンコシアカハバチ、タヌキ（写真：国立科学博物館 門田裕一，西海 功，篠原明彦，川田伸一郎）

皇居の生きものたち

—国立科学博物館による
皇居の生物相調査—

平成27年

申込不要

2月11日(水、祝)

9:30~17:00

国立科学博物館 日本館2階講堂

9時、会場にて受付
開始。先着順(定員
150名)。

常設展の料金をお支
払いいただき、常設
展入り口よりお入り
ください。

一般・大学生620円
(団体310円)
/高校生以下および
65歳以上無料



- 9:30 - 9:45 皇居の生物相調査の概要
倉持 利明(動物研究部)
- 9:45 - 10:15 皇居はタヌキにとって理想的な住
処? テレメトリー調査の結果から
川田 伸一郎(動物研究部)
- 10:15 - 10:45 皇居のトンボ類の多様性と特徴
清 拓哉(動物研究部)
- 10:45 - 11:15 皇居に生息するクモ類
小野 展嗣(動物研究部)
- 11:15 - 11:45 皇居における半翅目、双翅目、鞘
翅目の調査結果
野村 周平(動物研究部)
————— 休憩 —————
- 13:00 - 13:30 皇居のハチ類調査で分かったこと
篠原 明彦(動物研究部)
- 13:30 - 14:00 都市鳥が集う皇居でオオタカやエ
ナガも繁殖!
西海 功(動物研究部)
- 14:00 - 14:30 とっても多様な皇居のきのこ:
見える多様性と見えない多様性
保坂 健太郎(植物研究部)
- 14:30 - 15:00 皇居の地衣類多様性と大気汚染
大村 嘉人(植物研究部)
————— 休憩 —————
- 15:15 - 15:45 皇居における水環境の変化と藻類
辻 彰洋(植物研究部)
- 15:45 - 16:15 皇居の景観をつくるコケたち
樋口 正信(植物研究部)
- 16:15 - 16:45 皇居の維管束植物相—新種フキ
アゲニリンソウを中心として—
門田 裕一(植物研究部)
- 16:45 - 17:00 まとめ
岩科 司(植物研究部)



オオタカ



フキアゲニリンソウ



カブトムシ



アカホシゴマダラ



エナガ



フロウソウ



スズメグモ



シャジクモ



タヌキ



ウメノキゴケ



コサナエ



ササノハケイソウ



ニホンコシアカハバチ



ガニノツメ



ハス(道灌澤)